

1



勝山中学校が目指す生徒像の頭文字である四つの「C」を円形に配し、かつ恐竜の歯・骨を彷彿させました。その弧状で白山・大師山、水色部分で九頭竜川の意、小円で太陽を表してあります。全体を括ることで地に根差した生徒達を大切にする地である意、そして学んだ学校を大切に思って欲しいと願い校名を入れました。

2



山よりも大きく広い心で学校生活してほしい思い

3



水仙を描きました。円となっている部分は波紋をモチーフとし、人と人とのつながりを表しています。水仙を表すひし形には、自分の目指す方向に進もうみたいな意味を込めています。シンプルです。

4



勝山は山のイメージがあるから、山の上の部分をイメージしながらかきました。

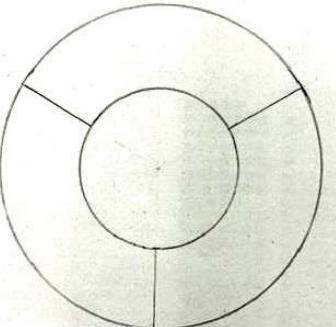
5



勝山の名のとおり山を描いた。水がきれいなので、川の水をイメージした。周りの円はつながりをイメージして描いた。



白山と川を書いて勝山のきれいな自然を表した。白山のように立派な生徒になってほしいという思いがある。



7

3つの学校が一つになるから、3つのベースに囲まれた一つの円を描いた



8

具体的に入れてほしいモチーフで空が書かれていたので描いた。KとCは勝山中学校のKとC



9

入れてほしいモチーフをなるべく入れました。Kは木、勝山、恐竜を表しています。周りのカラフルな色は七色の福井にあるたくさんの宝を表しました。まわりのフチで少しメダル感を出しました。



10

周りを「C」にし、オリーブの葉をデザイン。灰になってもその中から復活するという不死鳥をデザインし、学校が長く続くことや、復興をイメージした。

11



恐竜をデザインすることで「自然」と「地域らしさ」の2つをイメージ。「中」の文字は骨のイメージ。恐竜はフクイラプトルのフクイの文字を体の中に。フクイサウルスの幼体を追っているイメージ。当時生態系の頂点に立っていた恐竜をデザインすることで、様々な意味の「強さ」をイメージ

12



勝山でわりと有名な恐竜や大師山などを入れておしゃれにまとめました。

13



勝山中学校のKC、きょうりゅう、山、川などの要素を入れました。

14



勝山で有名な物をたくさん入れてみました。（山、サクラ、川、恐竜）

15



自然をイメージして、山や川や草花を入れました。恐竜や山の動物も入れて、にじや太陽と月も入れました。



16

大師山と太陽と恐竜を入れました。勝山は恐竜が有名なのでかきました。太陽は太陽のように明るい学校になってほしいからです。大師山は自然豊かということを伝えたかったからです。



17

これはみんなの「力」で「新しい学校を育てる」という意味が込められています。



18

恐竜王国勝山に出来た中学校をイメージした。



19

勝山の自然のように豊かな想像力と未来を変えられるような力を持ってほしい事から、勝山の山を文字の周りに書きました。



20

3つの中学校を表した3つの矢印を1つの太陽を模した新中に。天使の羽の色は水色が冷静、誠実、知性などを表し、ピンクが優しさ、愛を表していて優しさと信頼であるふれるようになるようにかきました。

21



勝山市の花 さつきの花弁（銀色）の中に k 中の文字（金色）を配置した

22



勝山市の山々と九頭竜川、みちのく福寿草、恐竜の足跡などを背景に勝山中学校のKの頭文字を配置した。

23



勝山の自然を象徴した白山、九頭竜川、みちのく福寿草をバックに勝山中学校の頭文字Kを配置。恐竜の足跡を輪郭にした。

24



勝山の自然を象徴する白山、九頭竜川、みちのく福寿草に恐竜の足跡と頭文字Kを配置。三階菱をさり気なく意識した枠組みで囲んだ

25



この校章は、勝山市の新しい中学校の象徴として、地域性と普遍性を兼ね備えることを意図してデザインしました。

・三本の指の足跡

恐竜の足跡をモチーフとし、三本の指で「三つの中学校がひとつにまとまる姿」を表現しました。地域の歴史と未来を結びつける象徴です。
・文字の選択と配置

「勝山のK」を前面に押し出すことは避け、代わりに「勝中」の二文字を堂々と中心に据えることで、学校名をわかりやすく示しました。他の企業や団体のシンボルと重ならない独自性を意識しています。

・恐竜モチーフの扱い

勝山市を象徴する恐竜を校章全体に強調すると、子ども向けや専門機関的な印象が強くなりすぎる懸念がありました。そのため、恐竜を直接描くのではなく「足跡」という形でシンボル化し、落ち着きと格調を重視しました。

・色彩

緑は勝山の豊かな自然を表現しています。校章全体に統一感を持たせることで、地域の風土と調和した力強いイメージを打ち出しました。

26



三中の校章を組み合わせて描きました。中部の中の字の形は北部 丸は南部の校章です。色は勝山の自然を表す緑を使いました。

27



力強い「勝」という文字を目立たせつつ、かつシンプルな周りの緑のわくで自然をあらわしました。

28



勝山の花、サツキという花に包まれている勝山を描きました。

29



このデザインにした理由は自然に囲まれている事を表したからです。

30



右下にはきょうりゅうのあしあとを、左上にはサツキとミチノクフクジュソウを描きました。私は勝山の自然が好きなので勝山の自然を多く取り入れました。

31



みんなが入れてほしいといったものをたくさんつめこみました。文字に関しては特に細かい意味はないけど、聞いたらすぐに思い出せるようにかんたんにしました。

32



勝山市の市章の上に「勝」の字を描き勝山らしさを出しました。

33



力強いイメージをだすようにデザインしました。

34



九頭竜の流れ（わく部分）と勝山の花を咲かせました。

35



勝という文字を中心にいれて目立つようにしました。えんぴつを入れて学びの感じを出しました。

36



勝山中の「か」の文字をシンボライズし、緑ゆたかな自然と九頭竜川の流れを組み合わせたもので、夢や希望に向かって、伸びやかに逞しく成長していく勝山中の生徒の姿を、統合3校の数でシンプルに表した校章

37



恐竜を念頭にデフォルメして、校名の頭文字Kを作成し、豊かな自然環境に育まれた学び舎で、お互いの繋がりを大切にして成長していく勝山中の生徒の姿を意図して作成し、一般的な校章のイメージと異にした校章を作成

38



勝山市のコミュニケーションマークの赤いカラーの種子を組み入れ、統合の3校の数で図案化した勝山中の「か」の文字に、九頭竜川の流れを組み合わせ、恵まれた環境の学び舎で、3校の繋がりを大切に、伸びやかに成長していく姿と、地域の人々から愛されるような校章にしました。

39



黄緑色部分は勝山市を上空から見た形となっています。

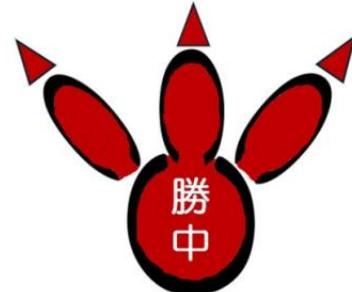
学校名の文字は、勝山市を流れる九頭竜川の水流を青色系の筆記体で表しています。また、右下から中央上へ続く茶色の恐竜の足跡は「4つのC」と「3つの三角形」でできており、

「勝山中学校のめざす生徒像」と「統合される3つの中学校」をそれぞれ表しています。

この足跡のように1つとなって4つのCを目指して

地域と共に勝山市の生徒達が力強く新しい時代で自己実現のために一步一歩進んでいく学校であることを願っています。

40



茶色の恐竜の足跡に学校名（勝中）のみのシンプルなデザインです。

恐竜の足跡は「4つのC」と「3つの三角形」でできており、

「勝山中学校のめざす生徒像」と「統合される3つの中学校」をそれぞれ表しています。

この足跡のように1つとなって4つのCを目指して

地域と共に勝山市の生徒達が力強く新しい時代で自己実現のために一步一歩進んでいく学校であることを願っています。

41



勝山中学校の勝山の文字を組み合わせ、エクセルでもかけるように直線のみでデザインしました。未来的なイメージにすることにより、新しい時代を切り開く生徒を育成する中学校の校章としました。また、周囲は世界に通用する校章となるよう英語表記を取り入れました。

42



勝山の木、杉を三本配置し、従来の三中学校を象徴するとともに、めざす学校が掲げるテーマを表しました。周囲にはさり気なく恐竜の足跡を配置しました。

43



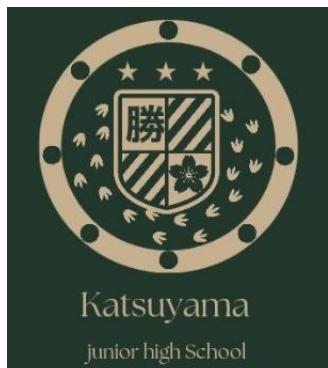
勝山市の木、杉を三本配置し、これまでの3つの中学校の伝統を引き継ぐとともに、目指す学校像を表現した。周囲には恐竜の足跡をされげなく配置した。

44



勝山市の自然(桜・山)と恐竜を象徴としたデザインにしました。
3つの桜は、元々あった3中学校(南部.中部.北部)を表しています。
まわりの円は、安全で安心な学校を、五角形は「幸せの五角形」として(良好な人間関係、ポジティブな感情、没頭、人生の意味、目標達成)などを表現しています。
全てを合わせると、とても縁起の良い校章になっています！

45



勝山の桜に恐竜の足跡をかっこよくアレンジしました。

46



恐竜博物館に展示されている動く恐竜を正面から見た顔をイメージして中の文字をデザイン。勝山の伝統的な三階菱で囲んだ。

47



全体のデザイン

シールド型にすることで、学校が「学びの場」であり、「生徒を守り育てる場」であることを表現しています。中央の「中」の文字は、中学校であることを示し、安定感と誠実さを表現します。(安全・安心で、保護者や地域から信頼される学校像)

勝山市は、恐竜の化石、市の東部には白山の山々がそびえる雄大な景色、中心部には福井県下最大河川である九頭竜川があるので、要素として取り入れました。また、市花のサツキや弁天桜等をイメージして、5枚花の要素を取り入れました。(ふるさと勝山への誇りと愛着を育む学校像)

各要素の意味

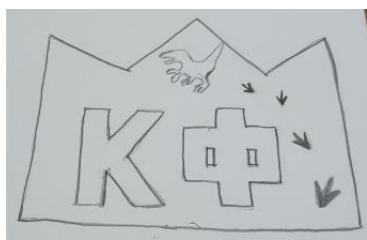
恐竜の骨格: 恐竜の化石は「過去」の象徴です。これは、歴史や伝統を尊重し、過去から学び未来を創造していく姿勢を表しています。また、未知の可能性を秘めた生徒たちの探究心や好奇心を育む教育を目指す、というメッセージも込められています。(新しい時代に生きる力を育む学校像)

山: 山は「挑戦」と「成長」の象徴です。生徒たちが目標に向かって困難を乗り越え、大きく成長していく姿を表現しています。)

水流: 势いよく流れる水は「進歩」や「発展」を表します。生徒たちが時代とともに常に前進し、社会に貢献していくことを願いが込められています。

花: 左下に描かれた5枚花の花は、校訓や理念を象徴し、生徒一人ひとりが個性豊かに美しく咲き誇ること(個性の輝き、夢や希望の実現)を願っています。また、1本の木や弁天桜のように並んだ木々からたくさんの花(個性)を咲くことから、自分と他者のよさを認め尊重し、協調し、関わり合う事を願っています。(夢や希望の実現を支援する学校)これらの要素が融合することで、この学校が「歴史を尊重し、未来に向かって力強く前進する、個性豊かな生徒を育てる場所」であることを表現しています。また、勝山中学がめざす生徒像4Cの願いも込められています。

48



勝山の中にK中（勝山中学校）が存在し恐竜の様に力強く一步ずつ前を向いて進んで欲しい。

この地に自らの爪跡を残し

K・中・恐竜は浮き出て足跡はへこんでいる。

恐竜はフクイラプトルのイメージです。

49



勝山市の花さつきと恐竜の足を組み合わせ 中央に中の字 協調と輪をイメージしました。

50



勝山市の花さつきと恐竜の合体 中央に中の字 協調と輪をイメージしました。

51



南部,中部,北部の校章を重ね合わせて作成。中央に勝山中部中校章デザインを配置し、輪郭を勝山北部中校章デザインで型取り、周囲を勝山南部中校章の円でかたどった。

52



恐竜王国勝山市なので恐竜の足跡の中に勝を入れました。爪は九頭竜川の水色で足跡は山の緑にしました。

53



恐竜王国勝山なので恐竜の骨の中にK中を入れました。K中は九頭竜川の水色、恐竜の骨は山の緑にしました。

54



恐竜王国勝山市なので、Kを頭につけたプテラノドンが頑張っている様子をハチマキにして中をつばさのようにしました。つばさは緑で自然をイメージしました。

55



勝山中学校の頭文字「K（飛鳥）・山」と市のはな「さつき」をモチーフに、自然豊かな学校周辺と中学の「中」を表しています。統合した3校の歴史や伝統・勉学・スポーツ・芸術文化のあらゆる交流の絆と魅力を市内外に広く情報発信し、温かい愛情に包まれ、生徒の将来への大きな夢や希望を目標に更なる飛翔・発展・向上する明るい元気な活気にあふれる「勝山中学校」の輝かしい姿をアピールしています。



勝山のKと恐竜を入れて地域らしさを全面に出しました。



3中学校それぞれの校章にある「中」の印象的な要素を1文字に混ぜる事で、温故知新のように3中学が合併した歴史を視覚的に特徴を持たせて表現しました。

「中」の縦3本線の終わり部分が中央に集まっていくように表現する事で、3中学校区それぞれの生徒たちが集う、1つの学び舎である意図を持たせました。

色の選定は、若葉が伸び、山に新緑が繁る姿を表現しています。

また、山の形状を抽象的に表現することで、中学校が生徒たちを守る屋根のような存在でもある姿を表現しました。

互いを尊重し合うという事は互いの違いを認め合う事だと考えています。

10代は自分の未来への希望と安心できる居場所がある上で、道をひらける時期だと考えています。

この校章を目にすることで生徒たちの結びつきが強くなり、「勝山市立勝山中学校の目指す姿」を想起するきっかけになれば幸いです。

その為に、まずは自身が安心できる場所を見つける事で、その先の道が拓けていくのではないかと考えました。

主体性や挑戦する勇気の獲得に繋がる全ての土台になることを願い、この校章案を提案いたします。

(念の為こちらに記入させていただきます。留意事項の最後の部分ですが、氏名の公表は了承いたしかねます。)



勝山中学校がめざす学校像の4つの項目により、目指す生徒像に成長していくことを表すために、4つの要素のグループが2つ存在しています。中学生の活力あふれる様子を表すために、動きが見られるようなデザインになっています。また、全体を1つとして見たときに羽と勝山という街をイメージしていて、羽に関しては可能性に溢れた中学生たちが羽ばたいていく様子を表し、勝山の街というのは、小と大を横に繋げたときに、上から、雨や雪などの恵み、広大な山、広がる人々の生活、九頭竜川を表しています。

色に関しては、活力のあふれる黄色、左右非対称にすることで、今までの枠にとらわれない、新たな勝山の発展をイメージしています。



下にある4つの線は「勝山中学校がめざす学校像」を表していて、その土台をもとに「勝山中学校がめざす生徒像」へ伸び伸びと成長する様子を表しています。中心にある円のつながった三角は、勝山の山という感じをイメージしつつ、三つの中学校地域が一つになることを表しています。また、全体のイメージとして、植物をイメージしていて、勝山という自然に囲まれた場所でくすく成長していくということを表しています。



男女がハイタッチしているイメージのデザインを周囲に3セット描きました、3校が一つの学校としてまとまり、強い絆で歩んでいってほしいという思いを込めました。その中に市の花サツキ、および市のシンボルフクイサウルスの骨格をイメージしたデザインを配置しました。

61



勝山市の花であるサツキを、将来の勝山市を担う生徒像として見立て描きました。天に向かって咲く花は「両手を開き、胸を張って自分らしい生き方を見つけて花開いていく」そんな生徒の姿を表現しています。

三角のフレームは、市内3つの中学校である中部中、南部中、北部中の三本柱を象徴しています。互いに手を取り合い1つになり、より生徒達の心の結びつきが強い学校になることを意味しています。

62



勝山市の象徴である恐竜博物館を舞台にしました。恐竜同士を向かい合わせることで強調性を表現。他者の個性に対して向き合い、理解し、尊重しようとする姿勢をイメージしました。

63



ふるさと勝山への誇りを重んじながらも、「今の時代を生きる学生達の将来に新しい風が吹きますように」という想いを込めて、勝山藩校成器堂の紋である3つの菱形をアレンジしました。

背景は白山連峰を望める雄大な山々を配置。勝山市の自然の美しさを取り入れました。

64



さつきを取り入れたデザインにしました。また、真ん中に勝中と文字を入れて見てわかるようにしました。

65



サツキをモチーフに描きました。お互いを尊重し成長することで、サツキのように立派に花開いて欲しいという意味を込めました。

66



統合する3校の生徒が手をつなぎ合っているイメージのデザイン（上から見た様子）と市の花サツキを重ね合わせました、更に市のシンボルフクイサウルスの骨格のイメージのデザインを重ね合わせました。

67



この校章は、勝山の自然と文化を象徴しています。

- K … 勝山の頭文字で学校の誇りを表現。
- 恐竜 … 勝山を代表するシンボルで、生徒を未来へ導く存在。
- 桜 … 新しい出発や友情を象徴。
- 水仙 … 福井県の花で、地域とのつながりを表す。
- 星 … 未来への希望や学びの光をイメージ。
- 円形 … 調和と団結を表現。

デザインは清潔感と誠実さを表し、どんな場面でも長く愛される校章となるようにしました。

68



この校章は、勝山の自然と文化を象徴しています。中央の K と KATSUYAMA は地域の誇りを表し、恐竜は未来への導きを示しています。特に凸凹とした尻尾や顔のフォルムを取り入れることで、勝山を代表する恐竜の力強さと個性を表現しました。桜は友情と希望、水仙は地域とのつながり、星は学びと夢を象徴しています。全体を円でまとめ、調和と団結を表現し、青一色で清潔感と誠実さを表しました。

69



すいせんをイメージして描きました

70



勝山中学校の「勝中」と福井の花の水仙を描きました。水仙の花言葉には気高さという意味があります。

71



下部にはサツキの花を図案化したものをあしらい、外側には恐竜の脊髄を描いた。そして本来恐竜の頭蓋があるところに「勝中」の文字を書いた。これは勝山中学校が福井県の、延いては日本の頭になってほしいという願いを込めた。

72



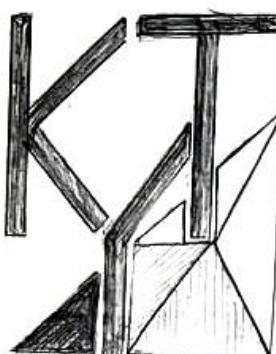
たまごからうまれて今から成長するという意味をこめました。

73



勝山らしさを出すために、恐竜の絵を描き、学校名を入れたかったので、英語で「KATSUYAMACHU」の文字を入れました。勝山中学校の生徒の方に恐竜のように格好良くなってほしいという意味も込めました。

74



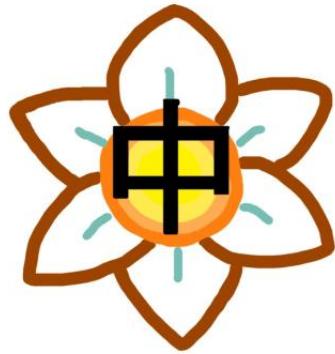
新しい中学校ということで近未来的な洗練されたデザインを描きました。後ろの三角形は勝山の山をイメージしてデザインしました。

75



このとりは世界で一番ねばり強いとりと言われています。①にねばりつよくとかいてあったので、このアナホリフクロウにしました。そしてねばりづよくティラノサウルスからにげているようにしました。

76



水仙をモチーフにし、水仙の中心部の黄色は生徒全員が明るい夢や希望を持って勉強や部活を頑張ってほしいという思いを込めました。デザインはシンプルにして誰でも分かりやすいものにしました。

77



勝山を代表する花のさつきと恐竜を書きました。

78



勝山市に応援されながら大きく育つ中学生をイメージし、勝山市の市章（かたかなの「カ」ひらがなの「つ」漢字の「山」）の中央に中を配置した。